

#### 四 カメレオン・ファイブ

ある日のことです。タツくんは、おとなりのカズくとカメレオン・ファイブごっこをして、あそんでいました。

カメレオン・ファイブというのは、テレビでやっている、赤、青、黄色、緑、桃色のコスチュームを着た五人の戦隊ヒーローのことです。

タツくんもカズくんも、カメレオン・ファイブがだいすきで、二人ともカメレオン変身ベルトをもっていました。タツくんのは、ブルーレオン、カズくんのは、レッドレオンのベルトです。ベルトには、ほんものの無線機もついていて、近くなら、もうひとつの無線機をつけて話することもできます。

「よし、ブルーレオン。怪人をさがしにいこう!」と、カズくん。

「いそごう。怪人は公園にいるぞ!」タツくんも負けてはいません。

ところが、そのとき、タツくんの無線機がリンリンと音をたてました。

「ブルーレオン、すぐに家に帰ってきてください。怪人があらわれました!」

これはたいへん!お母さんの声です。すぐにもどって怪人をやっつけなくては!同時に、カズくんの無線機にも、カズくんのお母さんかられんらくが入りました。

タツくんは、カズくんにさよならして、家の玄関をあけました。そのとたん、お母さんに「つかまえた!」とだきあげられました。なんと、怪人の正体はお母さんだったのです。

「わあっ、はなして!」

タツくんはもがきましたが、もう、どうにもなりません。きっと、お母さんは、なかなか家に帰ってこないタツくんをよぶために、怪人が出たと言ったのでしょう。カズくんのレッドレオンも、同じようにしてお母さんにつかまえられたにちがいありません。

つよいつよいカメレオン・ファイブ。でも、そのカメレオン・ファイブも、お母さん怪人にはかきません。